



世界とつながる地域を育む

十勝・帯広の国際協力拠点が20周年

地域の国際化を担う森の交流館・十勝が、昨年4月に設立20周年を迎えました。同年に設立されたJICA北海道（帯広）、十勝インターナショナル協会と20周年を祝い、ともに国際協力を進めてきた帯広畜産大学、帯広商工会議所と記念事業を実施しました。

問い合わせ

親善交流課（西20南6、森の交流館・十勝、☎34・0122）

森の交流館・十勝は、JICA研修員をはじめとする、十勝在住外国人と地域住民との交流の場として、平成8年4月に帯広市が設置し、同年に設立されたJICA北海道国際センター（帯広）、十勝インターナショナル協会とともに、地域の国際化、国際協力を推進してきました。

毎年2000人以上が参加する「世界のともだち」など、この3

団体が連携して開催する国際交流イベントは、市民と外国人が交流



世界のともだち2016

を楽しみ、異文化を肌で感じられる貴重な機会となり、国際性豊かなまちづくりにつながっています。また、地域の経済団体がJICAの事業を活用し、農畜産物の生産・加工技術など十勝・帯広の強みを生かしたプロジェクトを開発途上地域で実施し、国際社会への貢献はもとより、地域の活性化に大きく寄与しています。



市では今後、20年間の歩みを礎として、これまで行ってきた国際性豊かなまちづくりや地域資源を生かした取り組みを一層強く進

め、特色ある国際協力拠点としての存在感と魅力をさらに高めていきます。

JICA北海道国際センター(帯広)
 (西20南6、森の交流館・十勝に隣接、☎35・2001)

開発途上国のために、研修員の受け入れや青年海外協力隊員の派遣などの技術協力、無償・有償資金協力などの国際協力事業を行うJICAの道東の拠点です。設立から20年で5500人以上の研修員を受け入れました。市民参加型の国際協力を推進し、北海道が誇る多様な技術と発展の経験を途上国の「人づくり」「国づくり」に役立て、途上国の人々と地域住民の「心のふれあい」を育てています。

十勝インターナショナル協会
 (西20南6、森の交流館・十勝内、☎34・0122)

十勝管内市町村や民間の国際交流団体などにより設立された任意団体です。十勝在住外国人への情報提供や国際交流事業の実施のほか、とちか国際交流ボランティアの募集など、国際感覚の優れた地域住民の育成にも取り組んでいます。ボランティアは随時募集しています。気軽に問い合わせください。



帯広の森（創造の森）内にある「森の交流館・十勝」は十勝在住外国人と地域住民の交流の場

記念事業第1弾 平成28年10月15日実施

青年海外協力隊の活動を通じて成長する青年を描いた映画「クロスロード」上映会



青年海外協力隊創設50周年を記念して製作された映画「クロスロード」の上映会を行い、約100人が参加しました。参加者からは、「ボランティアの印象が大きく変わった」「ボランティアに参加してみたい」といった感想が寄せられました。

記念事業第2弾 平成28年11月17日実施

道東・十勝・帯広国際協力拠点設立20周年記念式典



これまで支援や協力してくれた関係者を招待し、記念式典を行いました。式典後の懇親会では、帰国研修員からのビデオレターの紹介、地域で活躍するパフォーマーによる和太鼓やアフリカドラムの演奏も披露されました。

記念事業第3弾 平成28年12月3日実施

“北海道・十勝と海外をつなぐ”トークイベント～女優 広瀬アリスさんを迎えて～

国際協力の必要性を発信する「なんとかしなきゃ！プロジェクト」のメンバーである女優・広瀬アリスさんを迎え、トークイベントを開催しました。広瀬さんと約350人の参加者が一体となり、地域と海外とのつながりや国際協力について考えました。

広瀬さんがフィリピンとインドを訪れて見た現状や課題を語ったほか、映画の撮影で十勝に滞在した際の酪農生活や乗馬の経験から、十勝の魅力に触れ、「農業」や「食」をキーワードに、学生や若手農業者の5人のパネリストと語り合いました。



イベントの最後に会場の参加者全員で「自分にできる国際協力」を書きました